



認定特定非営利活動法人

いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい

## ニュースレター 第24号

2019年10月 1日発行

電話 & FAX 029-309-7690

電子メール network-i@ams.odn.ne.jp

ホームページ <http://network-i.jp/>



今年の夏は冷夏ではないか、といわれていましたが、昨年同様の酷暑となりました。今もまだ暑い日が残っていますが、会員の皆様には体調を崩すことなくお過ごしでしょうか。

今年は、幼い子どもの親による虐待死の報道が続いています。このような事件が起きないようにするには、今までと違う視点で対策を見直す必要がある、ということでしょうか。

ネットワークあいでは、皆様と共にもう一度、子どもの命を守るために何をしたらよいか、考えるために11月30日フリージャーナリストの小宮純一様に『「ちいさいひと」に寄り添うー子ども虐待死事件の取材から』と題して講演とワークショップを行います。多くの方のご参加をおまちしております。

### 事業報告

2019年度4月～9月までの事業について報告いたします。

4月 11日	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式
4月 15日	2019年度第1回運営委員会・理事会
5月 12日	第2回定期総会 講演会 田部知江子氏「子育てにおけるアンガーマネジメント」
5月 16日	水戸地区里親会総会
5月 22日	ひたちなか市連合民生委員児童委員協議会 児童福祉専門部会へ講師派遣
6月 7日	第2回運営委員会・理事会
6月 22日	県南生涯学習センター「まなびフェスタ」打合せ会（土浦市）
6月 28日	令和元年度人権教育指導者中央研修会 / 講師派遣
7月 2日	茨城県要保護児童対策地域協議会代表者会議（水戸市）
7月 31日	水戸市学校保健会養護教諭部会 / 講師派遣
9月 6日	第3回運営委員会・理事会
9月 28日	県南生涯学習センター「まなびフェスタ」打合せ会

- ・毎月 3回 オレンジサロン（水戸市・つくば市）  
1回 えだまめキッズサロン（水戸市）
- ・毎週 3回 オレンジライン（電話相談）
- ・随時 弁護士相談

- ・施設・里親等から巣立った若者への食糧支援  
（日立市、笠間市、ひたちなか市、小美玉市、行方市）

## 子どもの安全確保は何を指標に考えますか？

東京都目黒区	船戸結愛ちゃん	5才	2018年	3月	死亡
千葉県野田市	栗原心愛ちゃん	10才	2019年	1月	死亡
北海道札幌市	池田詩梨ちゃん	2才	2019年	6月	死亡
鹿児島県出水市	大塚璃愛来ちゃん	4才	2019年	8月	死亡

今年になって、子どもの虐待死事件として、マスコミに報道された子ども達です。親に対する裁判も始まっており、その報道もされているので、事件についての記憶を新たにされた方も多いと思います。この4人の子ども達の事件について、関係機関の連携不足、リスク判断の甘さがマスコミからは指摘されています。本当にこの4人の子ども達を救うことはできなかったのか・・・今後、専門家による検証も行われていくことと思います。ただ検証には相当な時間がかかるので、私なりに事件を整理し、会員の皆様と同じ過ちをくり返さない対策を考えてみたいと思います。とはいえ、今のところ知り得る情報の出所は新聞記事だけなので、新聞報道の範囲内でまとめました。(次項表参照)

この表からみえることは、①心愛ちゃんを除いて一般の人からの通報があったこと。児童虐待防止法が成立当初は少なかったことを考えると一般市民の意識が高まっていると思われる。心愛ちゃんについては、自分から話せたことはすごいことなのです。この重みを子どもに関わる職業の方は忘れないで下さい。②通報があったにもかかわらず、詩梨ちゃん、璃愛来ちゃんは児相に保護されなかった。それはなぜか？結愛ちゃん、心愛ちゃんは、児相に一時保護されたが、家庭の状況が好転していないにも関わらず、家庭引き取りをさせているが、止めようがなかったのか？という疑問。③関係機関の意思の疎通、役割分担はどうなっていたのか・・・という疑問です。11月30日(土)のネットワークあい主催「子どもの虐待防止フォーラム」でプロのジャーナリスト小宮純一様から、新たな事実と私達の行動への示唆が伺えると思います。まだ親の裁判も始まったばかりです。これからも裁判の行方を見守っていきたいと思います。

名前	死亡	虐待の種類	虐待者		通報(虐待の発見)	一時保護	関係者・機関
			家庭のリスク				
結愛ちゃん (5才)	2018.3.2 衰弱死	身体的虐待 ネグレクト 心理的虐待	義父・母	2016.8～9 第3者からの通報	2016.12/25～2017.2 2017.3/19～2017.7	児童相談所 警察 病院 小学校(入学予定)	
			転居 離婚・再婚 DV	父に怒鳴られ「ごめんさい」と泣き叫ぶ声。 2016.12.25 第3者からの通報 外でうずくまっていた 2017.8月 病院がけがを確認し通報 2017.9月 病院がけがを確認し通報			
心愛ちゃん (10才)	2019.1.24 ショック性、又は 致死性不整脈 溺死(?)	身体的虐待 ネグレクト 性的虐待 心理的虐待	父・母	2017.11月	2017.11/7～12/27 父方親族方に引取り 2018.2.28 自宅に戻ることを児相 が了承	小学校 児童相談所 市教育委員会 市要保護児童対策地 域協議会	
			転居 転校 DV 虐待動画	自ら学校のアンケートに父の暴力を訴えた			
詩梨ちゃん (2才)	2019.6.5 衰弱死	身体的虐待 ネグレクト	母・母の交際相手	2018.9.28 第3者からの通報	なし 警察、児相共に あざやケガの状況 が、一時保護するほど ではないと判断	託児所 児童相談所 警察	
			母子家庭 10代の出産 低体重(1歳半) 母の交際相手	「託児所に預けっ放し、育児放棄ではないか」 2019.4/5・12 第3者からの通報 「泣き叫ぶ声がする」			
璃愛来ちゃん (4才)	2019.8.28 溺死	身体的虐待 ネグレクト	母・母の交際相手	2019.3.16 第3者からの通報	警察に4回保護	児童相談所 警察 市役所・市要保護児童 対策地域協議会 病院・保健師	
			母子家庭 転居 母の交際相手と同居	「虐待を思わせる動画を見た」 2019.3/21.28.29.4/2 夜間1人で路上・駐車場にいた。 2019.8.5 病院で複数のあざを確認			

## 「映画に学ぶ」

T. S

DVD鑑賞が好きです。これまでに私が見てきた映画の中から、こどもの虐待防止のヒントになるかもしれない映画「プレシャス」を紹介します。

テーマは実父と義父からのレイプ被害です。重いテーマですが、主人公の心の成長と、出会えた人たちとの希望を感じさせる関係に、大きな感動を覚えた記憶のある映画でした。

2009年に、アメリカで作られました。すでに、近親相姦体験者の会があったことには、驚きました。舞台は1987ハーレム。16歳の少女が学校を退学になり、フリースクールに出会うところから始まります。実父と義父の人間像は、ほとんど描かれず、(すでに同居していないところからスタート) 母親との生活が描かれています。昼間でもカーテンを閉め切り、一日中テレビを見続け、娘に家事をさせる母親の姿。生活保護を受け、こどものための福祉金を横取りし、ケースワーカーが来たときだけ、孫を可愛がる演技をする。普段は、自分の母親に、主人公が生んだ一人目の子を育てさせている。夫が娘に対して行ってきた暴力を、自分を守るために、見て見ぬふりをし続けた姿。

映画は、それでも、フリースクールの先生やクラスメイトとの関係が魅力的に描かれているので、救われます。そして、たぶん、主人公が生き延びるために必要だった空想シーンもまた、ミュージカルのシーンのように華やかに踊る場面であり、多く出てきました。

そして、明るいシーンと同じく、「これでもか、これでもか」と出てくる現実の一つの、エイズ宣告・・・・・・・・。

ラストは、母親を理解はするが、「もう会わない」という言葉を残し、二人の子供とともに歩いていく主人公の姿で締めくくられていました。

映画の冒頭には、「すべては宇宙からの贈り物」という、ケン・キース・J r の言葉がありました。

「プレシャス」は主人公の名前ですが、「最愛の人」という意味だそうです。わが子の誕生に際し、愛情と願いを込めて名前を付けることがほとんどだと思います。生まれてくれたことへの感謝の気持ちを持ち続けながら、大切な命を育てていけるような世の中を目指したいものです。

## ある日の研修会より・・・

あいの相談員スタッフとして、登録し様々な活動の一旦を任うボランティアをして6年たとうとしています。県外から水戸へ来て、友人も知人もおらず、何らかのサークルに入れば、できそうかなと思って、傾聴のボランティア主催の勉強会へ参加してみました。人とお話しすることに抵抗がなかったのですが、“聞く”方ではなく“聴く”ことの技量は、自分でそのキャリアをつみ、ますます聴く世界の研修をつんでいかないと、難しいと感じました。

そのような思いで過ごしている時、あいの主催の研修会へ参加する機会に巡りあいました。

相談員としてオレンジラインを週に一度のペースで受けてますが、きき手として、これでいいのかなと不安になったり、悩むこともあります。相談員同士で話しをしたり、専門性を活かして長くこの道で活躍されてきた事務局長に、きいてもらったりして、自分を振り返っている今日この頃です。

昨年12月に（月一回ミーティングを開催）ミーティングの後で、茨城大学教育学部准教授で臨床心理士の金丸先生が、ご教示下さった技法がとても、わかり易かったので、明記することにしました。

### OARS 技法（オールズ）＝動機付面接

これは、対面型で行なう時にコーラ（相談者）との関係づけをしようとするときにもちいるそうです。

Open ended gestion・・・開かれた質問　　どう？　なに？　　どういう時？

Affirmotion・・・肯定　　“そうですよね”

Reflection・・・感情の聴き返し　　“～なんですね”

Sumarize・・・要約　　“～ということですね”



チェンジトーク　　本人の中から現状がどんどん変わっていく。

特別に電話相談や〇〇相談に携っていないなくても、日常の暮らしの中で、他人とのコミュニケーションへも応用してみる部分があり、身近な友人や話さなくてはならないが、いまいち、難しいなあと思うような場面で、OARSのいずれかひとこまでも思い出してみると、役に立つような気がしました。

最後に、あいの活動の三本柱のひとつでもある「オレンジサロン」（月に三回開催：虐待をうけ苦しんでいる方々の居場所）に携わっている事務局長からの一言。

傾聴において、一番大切にしていることは、「相手のことば、話に疑問を持たないこと」です。

U・K



## ☆ こみっとフェスティバルへの協力依頼 ☆

2020年2月15日（土）に、イオンモール水戸内原店で「こみっとフェスティバル」が開催され、いばらき子どものネットワークあいも参加します。このフェスティバルは水戸市内のNPOやボランティア団体などの市民活動団体が、福祉や環境、国際交流、まちづくりなど、様々な分野で活発に活動している中で、各団体間のネットワークづくりや、一般の方々に、各団体の存在を知っていただき、身近に感じてもらうためのイベントです。

当日は、いばらき子どものネットワークあいは、物販コーナーでバザーを行います。家の不用品など（新品に限る）があれば、ぜひご提供ご協力お願いします。品物はあいの事務所にご郵送（〒311-4143水戸市大塚町1866-102）いただくか、事前に連絡のうえ、直接事務所に持ち込んでいただければと思います。

バザーで得た収益金は、いばらき子どもの虐待防止ネットワークあいの今後の活動に使用させていただきます。

こみっとフェスティバルはイオンモール水戸内原店で10:00～16:00に開催される予定です。お近くにお住まいの方は、お買い物ついでにぜひお立ち寄りください。

## ボランティアを募集しております！



- ★託児スタッフ
- ★事務作業
- ★ファシリテーター etc・・・

『NPO 法人いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい』の運営に少しでも…何か…ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記までご連絡ください。

心よりお待ちしております

☎& fax 029-309-7690  
mail network-i@ams.odn.ne.jp

